

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年02月15日

計画の名称	西伊豆町における住宅・建築物の安全性の向上（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	西伊豆町												
計画の目標	住宅・建築物の耐震化や住宅市街地の防災対策を行うことにより、安全で安心できる住まい・まちづくりを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3	A	2	B	0	C	1	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	33.33	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	住宅及び建築物の耐震化率を上げる。 住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全体宅数)	65%	%	95%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	西伊豆町	直接	西伊豆町	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業	耐震診断	西伊豆町						1	-	
	A16-002	住宅	一般	西伊豆町	間接	個人	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業	耐震計画および改修	西伊豆町						1	-	
											小計						2		
										合計						2			



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その結果を踏まえて担当課により評価	令和4年2月
	公表の方法 西伊豆町ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	旧耐震基準の木造住宅の耐震改修工事に関する補助金の交付により、住宅の耐震化が進み、災害時における住民の安全性が向上した。わが家の専門家診断事業29件、木造住宅補強計画策定事業6件、木造住宅耐震補強助成事業7件が実施された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	無料の耐震診断の実施により、住宅の耐震性を知ること町民の地震対策に対する意識が向上した。
特記事項（今後の方針等）	
安心・安全なまちづくりのため、引き続き住宅の耐震化を進めていく。耐震化に消極的な世帯の耐震改修のため、戸別訪問や相談体制の強化を行う。	

